

New Horizon 第16回 Lessons

Lesson 16-1 : 主語をたずねる who / what 疑問文

今回は「何が」「誰が」といったように主語をたずねる疑問文について学んでいきます。ちなみに、今まで登場してきたのは、目的語をたずねる形でした。

<例> あなたは何を食べたいのですか。 What do you want to eat?
誰と彼は話しているのですか。 Who is he talking to?

しかし、今回学ぶのは「何が壁に (はって) あるのですか」「誰が英語を教えるのですか」と主語をたずねる時に使われる形になります。ポイントは

「疑問詞+疑問文」の形ではなく、
「疑問詞を主語とした肯定文の形 (疑問詞は3人称単数 (he/she/it) 扱い)」となる

ということです。具体的には以下の通りです。

<例> What is on the wall? <何が壁に (はって) あるのですか>
Who teaches English? <誰が英語を教えるのですか>
Who played the piano? <誰がピアノを弾いたのですか>

【ポイント】

What's wrong? / What's up? も主語をたずねる疑問文

以前練習に登場した「どうかしたのですか」という意味の What's wrong? も wrong が「間違っている / よくない」という形容詞なので、詳しく言うと主語をたずねる疑問文の形となります。また、くだけた挨拶の What's up? (調子はどう? / どうした?) も主語をたずねる疑問文となります。

ここで使われる what / who は通常 3人称単数扱いなので he/she/it 同様、be 動詞は is、一般動詞には s/es が付きます。

よくある間違いは、一般動詞が入る疑問文を作る際に **do / does** などを入れてしまうこと

です。例えば、上の例ですと Who does teach English? としてしまうケース。これはよく見かける間違いなので注意してください。

【主語をたずねる疑問文：基本の形】

疑問詞 + is + ~ ?

疑問詞 + 一般動詞 s / es / ed + ~ ?

【作り方】

ステップ1: 疑問詞の部分(何・誰)に同じ種類の「適当な単語(3人称・単数)」を入れて肯定文を作る。

ステップ2: 入れた「適当な単語」を疑問詞に戻し、文の最後を?にする。

<例1: 何が壁に(はって)あるのですか>

ステップ1: 疑問詞の部分(何)に同じ種類の「適当な単語(3人称・単数)」を入れて肯定文を作る。

「何」を「彼のポスター」に変える。→ 「彼のポスターが壁に(はって)あるのですか」

His poster is on the wall.

ステップ2: 入れた「適当な単語」を疑問詞に戻し、文の最後を?にする。

What is on the wall?

<例2: 誰が英語を教えるのですか>

ステップ1: 疑問詞の部分(誰)に同じ種類の「適当な単語(3人称・単数)」を入れて肯定文を作る。

「誰」を「彼」に変える。→ 「彼が英語を教えます」

He teaches English.

ステップ2: 入れた「適当な単語」を疑問詞に戻し、文の最後を?にする。

Who teaches English?

【答え方】

主語をたずねる疑問文の答え方は、一般的に "Your schedule is." や "He does." のように be 動詞の疑問文の場合は「答えとなる名詞 + be 動詞」、一般動詞の疑問文であれば「答えとなる名詞 + do/does」となります。

<be 動詞> 疑問詞 + be 動詞 + ~? → 答えとなる名詞 + be 動詞.

<一般動詞> 疑問詞 + 一般動詞 s/es/ed + ~? → 答えとなる名詞 + do/does/did.

<例1: 何が壁に(はって)あるのですか>

What is on the wall? → His poster is.

*ただし、「His poster.」と物の名前だけや「His poster is on the wall.」と最後まで答えられたり、「That's his poster.」のように全く違う文で答えたりする場合もある。

<例2: 誰が英語を教えるのですか>

Who teaches English? → I do. / He does. (I want. / He wants. ではないので注意)

Lesson 16-2 : 様々なフレーズ⑱

1. That's right. = その通り

<例> A: Are you a student? B: That's right. <A: あなたは学生ですか。 B: その通りです>

〔補足説明〕

right は「右 / 右へ」という意味だけでなく「正解 / 正しい」という意味もある。That's right. の That's を省略させて Right. とだけ言う時もある (Right は、「そうだよね」といった意味の相づちとしても使われることもある)。

2. It is ○○'s turn. = ○○の番です

<例> A: Is it my turn? B: Yes, it is. <A: 私の番ですか。 B: はい、そうです>

〔補足説明〕

turn は「曲がる」という意味もあるが「順番 / 番」という意味もある。肯定文の際は、It is を省略させて、My turn. / Your turn. などとだけ言うこともある。

3. Oh, my goodness = おやまあ / なんてことでしょう

<例> Oh, my goodness. <私の誕生日は4月5日です>

〔補足説明〕

Oh, my goodness. や Oh, my gosh. は、Oh, my God.の代わりに使われるフレーズ (God は「神様」という意味)。日本人は時々 Oh, my God (オーマイガー) と口にするが、クリスチャンは「神様の名前をあまり口にするものではない」と考えているため、Oh, my God. は、基本的に使うべきではないフレーズ。

4. What's happening? = 何が起きているの？

<例> A: What's happening? B: Kota is not here.
<A: 何が起きているの？ B: コウタがいないんだよ>

〔補足説明〕

What's happening? は「何が起きているの？」なので、主語をたずねる What の疑問文。What を主語とし、現在進行形の形となっている。また、「～で何が起きているの？」というように「場所」を足す場合は、What's happening in...? や What's happening here? とすることもできる。

<例> What is this? What's happening here? (これは何ですか。ここで何が起きているのですか)

5. then = その時 / それから / その後で / それなら

<例> I came to Japan in 2020. I was 19 years old then.

<私は2020年に日本に来ました。私はその時19歳でした>

〔補足説明〕

「それから」という意味の then は、文頭でも使われることがある（この際、Then とカンマがつくことがあるが省略可）。

<例> I went to the library. Then, I went home.

（私は図書館に行きました。それから、私は家に帰りました）

Lesson 16-3 : 感嘆文

感嘆文とは「なんて～なのでしょう！」「なんて～だろう！」といったように、何かに感動したり驚いたりした時に使われる表現です。基本的な形は“How + 形容詞（副詞）！”“What + （形容詞） + 名詞！”となります。「なんて美しいのでしょうか！」というように形容詞（副詞）の意味だけを強調したい時は、How が使われ「なんて美しい花のでしょうか！」というように「（形容詞） + 名詞」の意味を強調したい時は What が使われます。

【感嘆文：基本の形】

How + 形容詞（副詞）！

What （+ 形容詞） + 名詞！

（なんて～なのでしょう）

<例> How nice! （なんて優しいのでしょうか！）

What a beautiful flower! （なんて美しい花なのでしょうか！）

【作り方】

ステップ 1： 感動を表している部分が「**形容詞 or 副詞**」だけなのか「**（形容詞） + 名詞**」なのかを見極める。

ステップ 2： 「形容詞 or 副詞」だけなら“**How** + **形容詞（副詞）**！”、「**（形容詞） + 名詞**」なら“**What** + **（形容詞） + 名詞**！”とする。

<例 1： なんて優しいのでしょうか！>

ステップ 1： 感動を表している部分が「**形容詞 or 副詞**」だけなのか「**（形容詞） + 名詞**」なのかを見極める。

「なんて優しいのでしょうか」なので、「優しい」（形容詞）のみとなる。

ステップ2: 「形容詞 or 副詞」 だけなら “How+ 形容詞 (副詞) !”、 「(形容詞) +名詞」 なら “What + (形容詞) + 名詞!” とする。

How nice!

<例2: なんて美しい花なのでしょう!>

ステップ1: 感動を表している部分が「形容詞 or 副詞」 だけなのか「(形容詞) +名詞」 なのかを見極める。

「なんて美しい花なのでしょう」 なので「美しい花」 (形容詞+名詞) となる。

ステップ2: 「形容詞 or 副詞」 だけなら “How+ 形容詞 (副詞) !”、 「(形容詞) +名詞」 なら “What + (形容詞) + 名詞!” とする。

What a beautiful flower!

そして、「これは、なんて美しいのでしょうか」「これは、なんて美しい花なのでしょう」のように「主語」が入る場合は “How + 形容詞 (副詞) + 主語 + ~!” や “What+ 形容詞 + 主語 + ~!” という形になります。

【感嘆文: 基本の形】

How + 形容詞 (副詞) + 主語 + ~!

What (+ 形容詞) + 主語 + ~!

(「主語」は、なんて~なのでしょう)

<例> How nice you are! (あなたは、なんて優しいのでしょうか!)

What a beautiful flower that is! (あれは、なんて美しい花なのでしょう!)

【イメージ】

<How の感嘆文>

You are nice. (あなたは、優しいです)

↓
nice を強調

How nice you are! (あなたは、なんて優しいのでしょうか!)

[How が文頭にあるため、疑問文と覚えてしまい、最後を are you としないように注意]

<What の感嘆文>

That is a beautiful flower. (あれは、美しい花です)

↓
a beautiful flower を強調

What a beautiful flower that is! (あれは、なんて美しい花なのでしょう!)

[What が文頭にあるため、疑問文と覚えてしまい、最後を is this としないように注意]

【作り方】

ステップ 1：感嘆文ではなく、普通の肯定文を考える。

ステップ 2：感動の部分が「形容詞 or 副詞」だけなら “How+ 形容詞 (副詞)” を文頭に置き最後を！にする。感動の部分が「(形容詞) + 名詞」なら “What+ (形容詞) + 名詞” を文頭に置き最後を！にする。

<例 1：あなたは、なんて優しいのでしょうか！>

ステップ 1：感嘆文ではなく、普通の肯定文を考える。 → 「あなたは優しい」

_____ You are nice.

ステップ 2：感動の部分が「形容詞 or 副詞」だけなら “How+ 形容詞 (副詞)” を文頭に置き最後を！にする。感動の部分が「(形容詞) + 名詞」なら “What+ (形容詞) + 名詞” を文頭に置き最後を！にする。

感動の部分は「なんて優しい」 → 「形容詞」だけなので How nice

_____ How nice you are!

<例 2：あれは、なんて美しい花なのでしょうか！>

ステップ 1：感嘆文ではなく、普通の肯定文を考える。 → 「あれは美しい花です」

_____ That is a beautiful flower.

ステップ 2：感動の部分が「形容詞 or 副詞」だけなら “How+ 形容詞 (副詞)” を文頭に置き最後を！にする。感動の部分が「(形容詞) + 名詞」なら “What+ (形容詞) + 名詞” を文頭に置き最後を！にする。

感動の部分は「なんて美しい花」

→ 「(形容詞+) 名詞」なので What a beautiful flower

_____ What a beautiful flower that is!

【ポイント！】

How ~! ⇔ What a ~! の言い換え問題は書き換え問題でよく登場する

「あの花は、なんて美しいのでしょうか (How beautiful that flower is!) 」と「あれは、なんて美しい花なのでしょうか (What a beautiful flower that is)」のように、How ~! と What a ~! は、ほとんど同じ意味の文章を作ることができるため、よく書き換え問題に登場しますので覚えておきましょう！

Lesson 16-5 : お祝いなどのカードを書く時に使われるフレーズ

1. Thank you for ~ = ~に感謝します / ~してくれてありがとう

<例> Thank you for your help. <あなたの助けに感謝します>

〔補足説明〕

for の後には、名詞が入る。「~してくれてありがとう」という場合は、for の後に「動名詞（動詞 ing）」の形が入る（動名詞は「~すること」という意味なので）。

<例> Thank you for helping me. (私を助けてくれてありがとう)

2. Best wishes for ~ = ~の幸運を祈っています

<例> Best wishes for the new year. <あなたの新年の幸運を祈っています>

〔補足説明〕

「あなたの幸運を祈っています」というように「○○（人）の幸運を祈っています」という場合、Best wishes to ○○. となる。

<例> Best wishes to you. (あなたの幸運を祈っています)

3. I hope + 「文」. = 「文」を私は望みます。

<例> I hope you are fine. <あなたが大丈夫なことを私は望みます>

〔補足説明〕

I hope 以外にも “I think + 「文」 ”（「文」だと私は思います）や “I understand + 「文」 ”（「文」だと私は理解しています）など、様々な応用の形がある。また、I だけでなく、we / you / he など他の主語を入れることも可能。

<例> I think he is smart. (彼は賢いと私は思います)

We understand we have many problems.

(私たちにはたくさんの問題があることを、私たちは理解しています)

4. feel better = 気分が（前より）良く感じる

<例> Do you feel better? <気分は前よりも良く感じますか>

【補足説明】

feel は「感じる / 感じられる」という意味の一般動詞。better は「より良く / 前よりも良く」という意味の形容詞 / 副詞。「～の感じがする / ～の気分」という場合、“feel + 形容詞”の形が用いられるため、feel good（良い気分）/ feel happy（嬉しい気分）/ feel sad（悲しい気分）という形もよく使われる（ただし、I don't feel well. のように feel の後に副詞が用いられる場合もある）。

5. get well soon = すぐに良くなる

<例> I hope you get well soon. <あなたがすぐに良くなることを私は望みます>

【補足説明】

get には「手に入れる / 到着する」という意味だけでなく「（何かの状態に）なる」という意味もある。そのため、get well で「良くなる」となる。また、soon は「すぐに」という副詞。now / tomorrow のような時を表す副詞で、基本的に前置詞はつかない。

6. have a ~ = ~ をお過ごしください

<例> Have a great weekend. <素晴らしい週末をお過ごしください>

【補足説明】

Have a good day. / Have a great time. などは、分かれの挨拶などによく使われる。

<例> A: Have a good day. B: Thank you. You, too.

(A: 良い一日をお過ごしください。 B: ありがとう。あなたも)

7. Take care. = お大事に

<例> A: Take care. B: Thank you. <A: お大事に。 B: ありがとう>

【補足説明】

Take care. は、病院や体調があまりよくない人への別れの挨拶などによく使われる表現。しかし「じゃあね / さよなら」といった意味も含まれているため、普段の別れの挨拶でもよく使われる。

Lesson 16-6: お祝いなどのカードの書き方

英語でお祝いなどのカードを書く際、決まった形は特にはないのですが、「メッセージ（「誕生日」なのか「お見舞い」なのかといったカードの意図）」を大きく書き、そこに一言、二言足すのがよく見られる形です。市販されているカードの場合、メッセージが印刷されている場合が多いため、そのメッセージの周りに一言、二言足すのが良いでしょう。

① _____,

Get Well Soon!

② _____

③ _____,

④ _____

1. 名前を書く欄がある場合は“(Dear) 相手の名前”と書き、カンマを足す（ない場合も多い）。
2. 一言メッセージを書く。例えば “I am looking forward to seeing you soon.”（すぐに会えることを期待しています）など。
3. 結びの挨拶。例えば、Take care / Good luck / Love など。そしてカンマを足す。
4. 最後に名前を書く。